

# monolith

theme for ACE

## USERGUIDE



*for version 1.0 (2020 3月.)*

インストール .....	3
レイアウト .....	5
いくつかのパラメータ .....	7
アップデート .....	8

# テーマのインストール

## macOS

- 1."Macintosh HD/Library/Application Support/u-he/Themes"にテーマフォルダをドロップします。
2. ACEを開きます。
3. 右上の歯車アイコンをクリックし、環境設定を開きます。
4. 「Default Skin」の項目で、“monolith”を選択します。

## Windows

1. ACEフォルダを見つけます。通常であれば"C:\VSTPlugins\u-he\ACE.data"にあります。
- 2."Support:Themes"に移動し、テーマフォルダをドロップします。もしそのようなフォルダがない場合には、自分で新規作成します。
3. ACEを開きます。
4. 右上の歯車アイコンをクリックし、環境設定を開きます。
5. 「Default Skin」の項目で、“monolith”を選択します。

※Putting many themes might increase the GUI loading time.



# カスタムフォントのインストール

---

Neumannは**カスタムフォント**を使用しており、これもまたインストールが必要です。(これをインストールしない場合は、初期フォントが代わりに使用されます。)

## macOS

---

"Macintosh HD/Library/Application Support/u-he/ACE/Fonts"フォルダにいき、"Inter"という名前のフォントフォルダをドロップします。

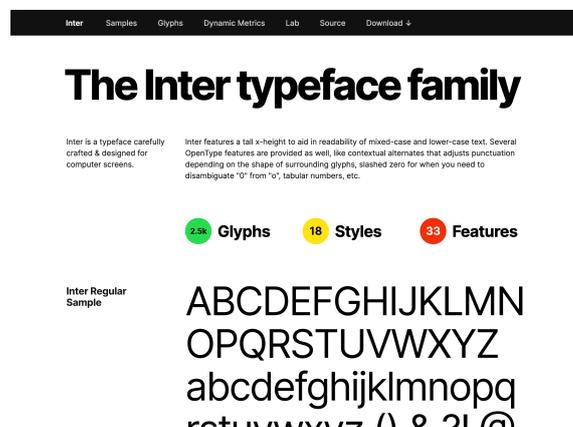
## Windows

---

1. Zebraフォルダを見つけます。"C:\VSTPlugins\u-he\ACE.data"にあるはずですが。
- 2."Data:Fonts"フォルダに移動し、"Inter"という名前のフォントフォルダをドロップします。

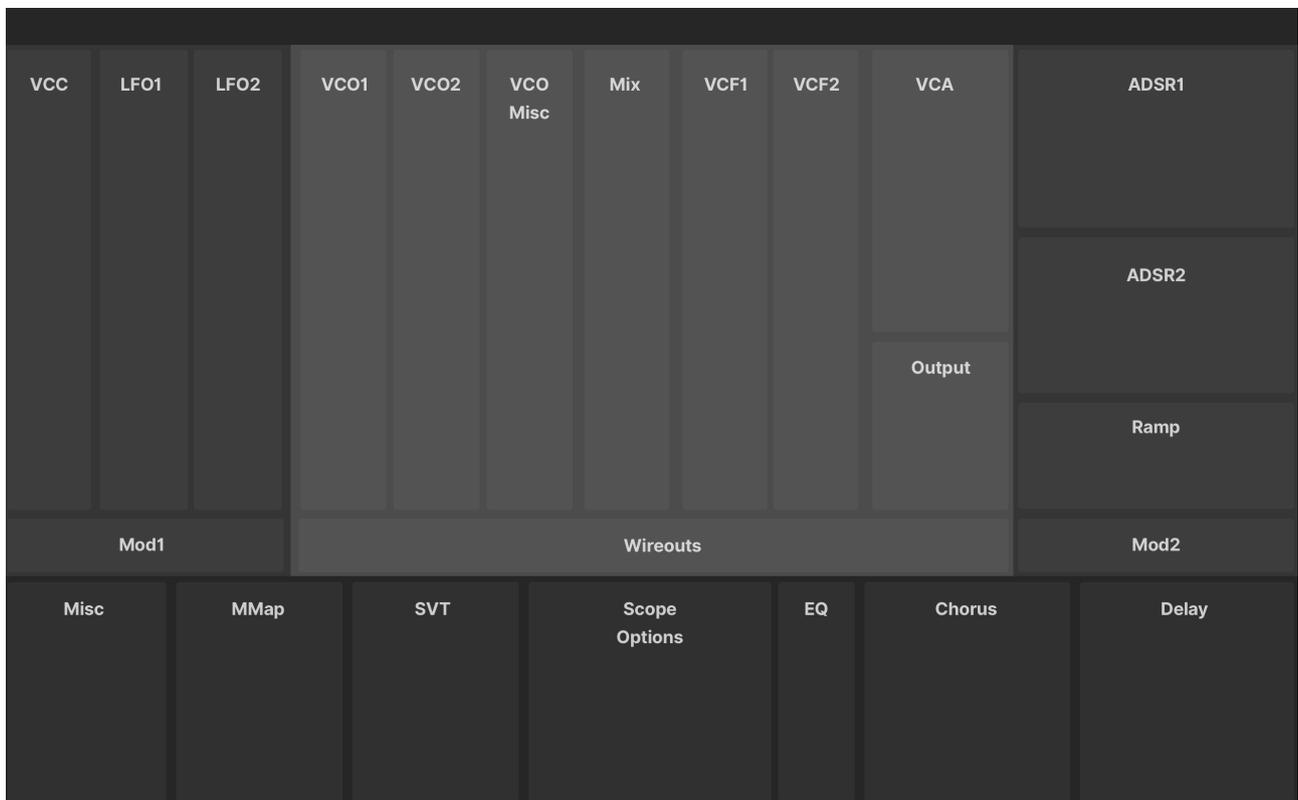
**Inter** はOFLフォントで、コンピューター画面のために慎重に作成されています。

<https://rsms.me/inter/>



# レイアウト

monolithはオリジナルと異なるレイアウトを採用しています。タブは一切存在しない、一画面完結型です。



またmonolithは縦長のモジュールデザインを採用しており、これは**Eurorack**や**Korg MS-20**に大いに影響されています。

このレイアウトにより、LFOがVCOと同じようなチューンパラメータを共有していることがハッキリと分かります。

基本アイデアはこうです：ジェネレータは中央に居座り、モジュレータがそれを囲む。デジタル系のパラメータやアウトボードなものたちは下部パネルに配置する。

これはACEのコンセプトを表しています——デジタル機能を備えたアナログ・モジュラー・モンスターです。

## モッド・ボックス

---



monolithは優れたモジュレーションシステムを有しています。

上下矢印 (↕)のついたボックスは、特殊な挙動をすることに注意してください。

このタイプのボックスは「モッド・ボックス」と呼ばれ、クリックしてもメニューが開きません。代わりに、**ドラッグすることでモッド深度を調整する**のに使います。ドラッグするのは↕アイコンではなくボックスそのものです。

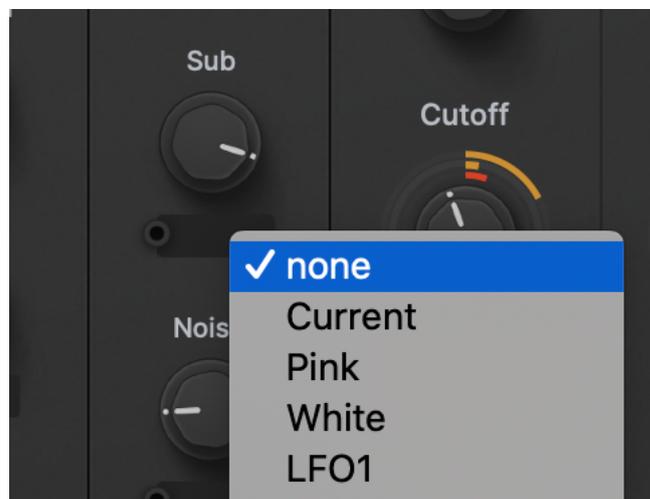
モッドソースを変更するにはどうしたらいいのでしょうか？それはもちろん、ケーブルをパッチすることです。あるいはゴーストモードならば、インレットの代わりに三角アイコンが表示されますから、それをクリックすればソースが変更できます。

## モッドソース・セレクター

---



↕アイコンのないボックスは単なる「モッドソース・セレクター」です。クリックすればメニューが開きます。もちろんケーブルを繋いでパッチングするのも楽しいですが、それが面倒な時には、このメニューを活用してください。



## いくつかのパラメータ

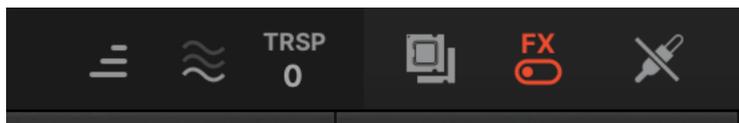
---

このセクションでは、一見分かりにくいパラメータについて説明します。

### トッパーのアイテム

---

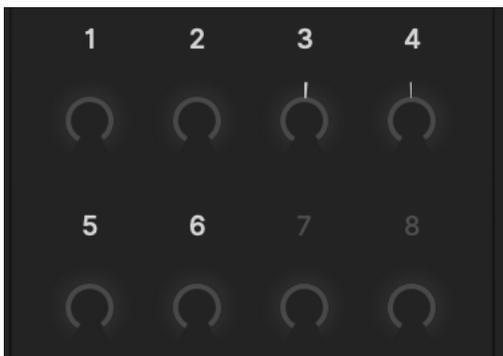
いくつかのパラメータはトッパーへ移動され、ラベルがありません。



左から順に、Voicemode、Voices、トランスポーズ、マルチコア、バイパスFX、そして「ゴーストモード」のスイッチです。このうち”Voices”だけは**スライダー**であり、ドラッグで操作することに注意してください。

### Voice Stacking

---

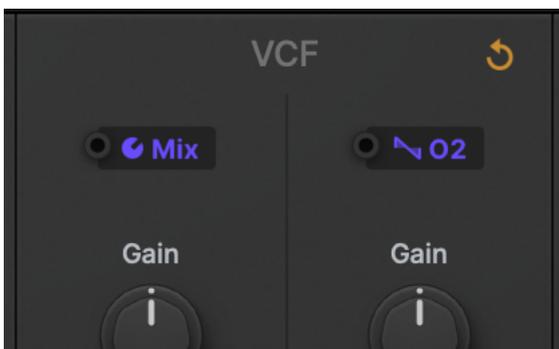


SVTモジュールは、肝心の”Stack”パラメータのメニューが存在しません。

メニューではなく、**数字そのものをクリック**することで直ちにその数をstackとして設定できます。また、横方向にドラッグすることでもstackを変更できます。

### Reset Phase / Filter

---



“Reset”パラメーターはモジュール各部に、小さなりロードアイコン(↺)となって収納されています。

VCFのリセットに関しては、クリックをすることでモードが次のものへ切り替わる仕組みになっています(none - full - full+click)。

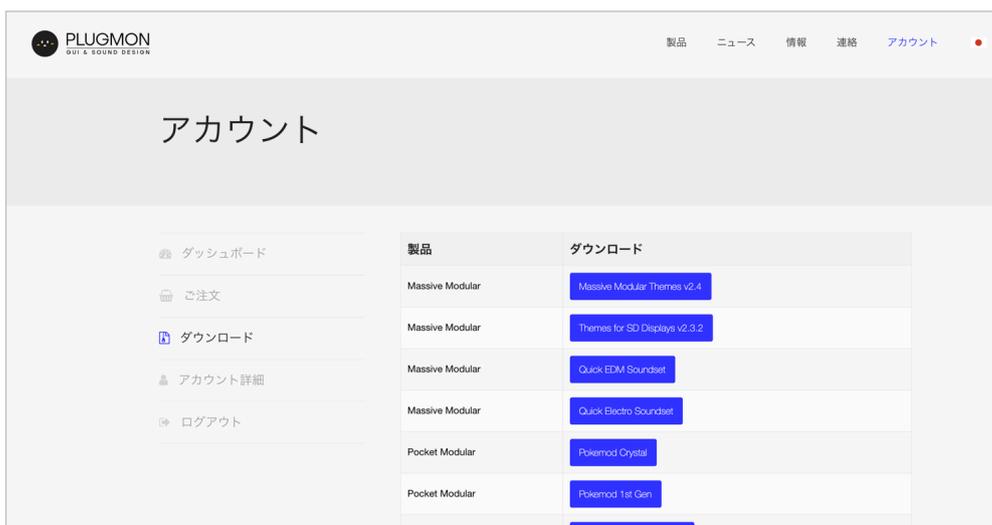
# アップデート

製品を再ダウンロードしたり、アップデートしたりは、ウェブサイトから可能です。  
アカウントページはこちらのURLです：<https://plugmon.jp/my-account/>

メールアドレスとパスワードを入力してログインします。もしアカウントを作っていない場合は、作成する必要があります。その際には、購入のときに使用したメールアドレスを使用してください。そうすることによって、過去の購入履歴との紐付けがなされます。



ログイン後は、「ダウンロード」のタブに移動します。そこで、購入した製品を再ダウンロードすることができます。



製品	ダウンロード
Massive Modular	Massive Modular Themes v2.4
Massive Modular	Themes for SD Displays v2.3.2
Massive Modular	Quick EDM Soundset
Massive Modular	Quick Electro Soundset
Pocket Modular	Pokemod Crystal
Pocket Modular	Pokemod 1st Gen

\*何か問題が発生しましたら、[コンタクトページ](#)からご連絡ください。